

Information_12

気温が少しずつ下がり、人も動物も冬支度を始める頃になりましたね。そこで今回は、寒さが増す冬に注意して欲しい、猫さんの尿の病気についてのお話です。

 秋・冬にかかりやすい疾患とは？

☆膀胱炎

① 特発性膀胱炎

膀胱の炎症によって起きます。はっきりとした原因はわかっていません。
ウイルス感染、ストレス、食事、遺伝的要因が原因になることもあります。
症状・・・頻尿、血尿、排尿時に痛そうな素振りを見せるなど。

② 細菌性膀胱炎

炎症によって膀胱の粘膜がただれ、細菌感染してしまうことが主な原因です。
初老・免疫系障害（白血病ウイルス・猫免疫不全ウイルスなど）糖尿病や甲状腺疾患のある猫はかかりやすくなると言われています。また一般的に健康な猫は細菌性の膀胱炎にかかりづらいとされています。
症状・・・尿の回数が増える、血尿・にごった尿、尿のおいがいつもと違う、臭いが強くなるなど。

☆尿道閉塞

細菌による感染や尿中にできた結晶によって尿道が塞がって起こる病気です。
男の子は尿道が長く先細りの構造をしているので、女の子よりかかりやすいと言われています。命にかかわる怖い病気です。
症状・・・尿が出ない、元気がない、食欲がない、吐き気が見られるなど。

☆予防方法

水分摂取量と尿の回数を減らさないことが予防に繋がります。遊びなどで適切な運動を促して、水を飲む量が減らないようにしましょう。また水分を多くとれるよう、ドライフードからウェットフードに切り替えてみるのもひとつの方法です。水分を多くとることで自然と尿の回数が増え、尿の色も薄くなります。



猫はなぜ腎疾患が多いのか？

これは祖先から受け継いだ習性と関係があります。

祖先：リビアヤマネコ

土地：中東の砂漠地帯

特徴：①極端に雨の少ない地域に住んでいました。そのため水を得るのが難しく、捕食した肉の中に含まれる水分で必要な水分量を補っていました。
②猫は肉食でたんぱく質を多く摂取します。尿中に老廃物が多く含まれ、それらをこしだすために腎臓に大きな負担がかかります。

上記①②の通り、猫は水分摂取量が少なく濃度の高い尿を出します。尿を作り排泄させるためには水が必要です。しかしその働きを促す水分自体が少なく腎臓への負担が大きいため、腎疾患が多いと考えられています。



写真：リビアヤマネコ

医学の進歩により、猫は長生きになってきました。しかし、そのぶん腎臓への負担は年を増すごとに増えています。現在、7歳以上の猫の多くに腎疾患の可能性があるとされています。病気を見逃さないためにも定期的な健康診断や尿検査をおこなって、体のサインを見逃さないようにしたいですね。